

①	申請番号	R3-19
②	研究課題名	大腿骨近位部骨折術後に歩行を再獲得するまでの期間に関する調査
③	情報の利用目的及び利用方法 (他の機関へ提供される場合はその方法を含む。)	大腿骨近位部骨折に対して手術を施行した高齢者の術後移動能力を経時的に調査し、最終的に再獲得可能な移動能力を評価するのに適した時期を明らかにすることを目的とする。本研究の成果を学会や学術雑誌等において発表することにより公表する。
④	利用または提供する情報の項目	①患者背景: 年齢、性別、受傷から手術までの期間、施行術式、骨粗鬆症治療既往、合併受傷、認知機能(HDS-R)、受傷前移動能力、受傷前生活状況、入院期間 ②画像所見: 骨折型、術後整復位、骨癒合、術後矯正損失 ③術後経過: 平行棒歩行開始日、歩行器歩行自立日、杖歩行自立日、独歩自立日、退院時移動能力、退院先
⑤	対象者及び対象期間	2013年8月から2021年3月までに北海道済生会小樽病院において、大腿骨近位部（頸部または転子部）骨折に対し手術を施行した患者
⑥	利用の範囲	研究者および研究代表者
⑦	資料・情報の管理について責任を有する者	済生会小樽病院 【整形外科 医長 藤本秀太郎】
⑧	問い合わせ先	済生会小樽病院 総務課 0134-25-4321

もし、研究や情報の提供に同意いただけない場合には、お手数ですが問い合わせ先までご連絡ください。  
なお、同意の有無が今後の治療などに影響することはございません。